

自立型行政運営への転換を

新年あけましておめでとうございます。村民各位におかれましては、巳年の輝かしい新春をご家族おそろいで迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

さて今年、地方の時代と言われ、八十年代もいよいよ最後の総決算、総仕上げの年を迎えたことになり、この十年間を振り返る時に非常に長く厳しい冬の陣ではなかったでしょうか。戦後間もない日本が高度成長の波にのり、池田内閣の所得倍増論——「貧乏人は麦を食え」に始まり、消費は美德の使い捨て時代から日本列島改造論に至るまでの日本経済の進展には目を見はるものがあり、世界からは文明・文化はもちろんのこと、世界の経済大国といわれてきました。しかし、オイルショック後の日本を取り巻く世界経済は、冷たくかつ厳しく、円やドルにかかわる国内企業は低迷をしいたげられ、石油・輸出にかかわる貿易関連企業は先行き不透明で混迷が続き、併せて行財政改革が打ち出され、農家にあつても打ち続く大型減反や生産者米価の引き下げ、農産物の輸入自由化問題など、まさに波乱に明け暮れた歲月であり、日本歴史上かつてない大きな転換期を迎えたと言っても過言ではないでしょう。

政府は景気の回復のために内需の拡大を計り、大きなプロジェクトを次から次へと手がけ、今世紀最大の交通体系の完成を見て、まさに高速交通情報化時代を迎えています。

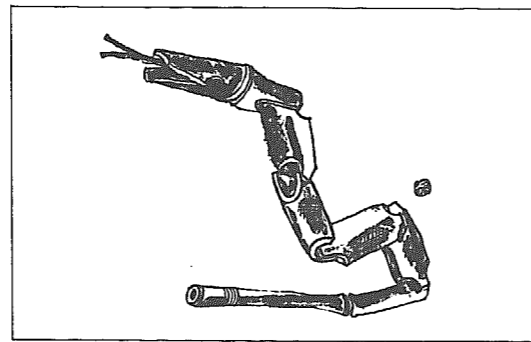


村議会議長 竹内 一義

岩室村には青々とした日本海があり、緑の山々があり、そして秋には黄金の波の湯など、まさしく自然に恵まれたこんなすばらしい村は外にはないと思っています。それだけに村の行政対応はより幅広いものがあります。そのため村執行と議会は常に両輪となつて、より平和で豊かであるよう頑張つていきたいと思つています。

最後にになりましたが、常日ごろ村民の皆様から寄せいただいたお礼状や感謝状を拝見し、ご厚意、ご鞭撻に深く感謝を申し上げます。今年も良い年でありますことを心からお祈りして、年頭のごあいさついたします。

ところで、蛇は、生きている間ずっと成長し続けます。発育にともなう、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいものと取り換えられる——脱皮です。お正月を機に今年こそ新しい試みをと、脱皮を心がけておられるか、うまくいくといいですね。



そこで、これらに対する地方自治体の対応も、やがて来る二十一世紀に到来する複雑で多様化した高齢化社会や地域福祉から在宅福祉の問題、そしてますます高まる住民意識の高揚などに行政がどのような対応していくべきか、地方行政を取り巻く環境は一段と厳しいものがあります。しかし、村民ニーズについては前進はあつても絶対に後退するわけにはいきません。それには、今までのような依存型行政から官公民一体の自立型行政運営に転換を図ることが大切だと思つています。

ところで、今年からまた大きなプロジェクトが始まります。村民待望の和納小学校改築事業です。百年の大計ともいわれる、この大事業を立派に遂行するために、村民の皆様から格段のご協力をいただかなければなりません。二十世紀を担う子供たちのためよろしくお願ひいたします。

第三次総合開発計画の策定へ

若水を汲み髪を整え早晩初参うでをする——これが古来から日本のならわしであり、各位もそれぞれの思いを込めて新年を迎えることと心からお慶び申し上げます。

また、門松はめいどの旅の一里づかめでたくもありません。めでたくもなし——といわれた一休禪師の句があります。ともあれ、お互いさま今年こそは、と張りつめた気持ちで決意を新たに迎える新年です。



岩室村長 岩沢 越弥

わたしも村長就任二年目を迎えるの事業と取り組んでまいるのであります。倍旧のご指導ご鞭撻を衷心からお願い申し上げます。

まずその第一点は、第三次岩室村総合開発計画の策定であります。昭和五十六年に議決された第二次総合開発計画に基づき、村勢の進展が図られてきたところであり、村勢の進展はかつての十年が五年、三年に短縮される今日、これらの見直しは焦眉の急務であります。第二点は生涯教育の推進であり、昭和六十二年に国の指定を受け、夢とやすらぎのあるふるさと岩室村の村づくりをどう

ように進めるべきかとのテーマで、文化水準の高い岩室村、健康水準の高い岩室村、福祉水準の高い岩室村と目標を定め、各専門分野の先生がたのご指導をいただきながら、プログラムの作成が進められ、出来上がったのが、おらが村岩室ふるさと講座、むらおこしふるさと講座、生涯スポーツ講座であります。それぞれをこれまで実施してきたわけですが、今年もさらに活発に推進してまいりますので村民総参加を期待いたします。第三点は和納小学校の移転改築であります。各位の理解とご協力により用地買収を完了、現在敷地造成工事を進めています。建築工事の着工は、今年七月ごろにな

りませんが、第一期工事として管理棟と教室棟を建築いたします。工期は昭和六十五年七月完工を予定しています。第二期工事は屋内運動場とプールを建設し、工期は昭和六十五年七月着工で六十六年七月完工を計画しております。開校は昭和六十六年の二期からということになりますが、厳しい財政事情の中、約十四億円程度の投資となりますので、村民各位のご理解とご協力をいただきながら、冗費の節約に努め推進していきたいと決意しております。

以上、所感の一たんを申し上げまして新年のごあいさついたします。

「若水を汲み髪を整え早晩初参うでをする」——これが古来から日本のならわしであり、各位もそれぞれの思いを込めて新年を迎えることと心からお慶び申し上げます。

また、門松はめいどの旅の一里づかめでたくもありません。めでたくもなし——といわれた一休禪師の句があります。ともあれ、お互いさま今年こそは、と張りつめた気持ちで決意を新たに迎える新年です。

1989年
ことし
は巳年

今年 は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いただけで、嫌悪感もよおす人もいます。蛇は、十二支のは多分にあのグロテスクな姿のせいで、脚部の退化・消失してしまった細長いからだ、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので、あんな細長いからだ、内臓はどうなっているのだろうか……

心配には及びません。内臓も体に合わせて細く伸びているほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拜と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられ